

第13回 桂川・相模川流域協議会

桂川・相模川 流域ウォーキング

富士吉田市を巡る

”ここにはいつも富士がある”



◆日時◆

平成30年8月9日(木)
8:00~17:30

◆参加人員◆

*募集人員:25名

〆切り:平成30年8月6日(月)

定員超過の場合は抽選にて決定します

*参加費:無料

但し、入場料などは個人負担

◆集合場所・時間◆

①小田急・相鉄線 海老名駅西口 8:00

・下図参照下さい

②山梨県富士・東部林務事務所 9:45

・都留市田原3-3-3



◆コース◆ *途中マイクロバス利用

・富士八湖の一つ明日湖、秘境の湯治場(不動の湯)

・富士山レーダードーム館

・桂川(鐘山の滝)、富士山の銘水工場見学

◆解散場所◆ 小田急・相鉄線 海老名駅西口 [解散] 17:30 頃

◆雨天の判断◆ 雨天決行 (台風など荒天の場合は順延します)

◆昼食について◆ 昼食は忍野村(和食処・車や)を予定しています

◆注意事項◆

歩き易い服装、十分な暑さ対策をして参加下さい。

◆申し込み・お問い合わせ◆

神奈川県環境農政局緑政部 水源環境保全課内

Tel 045-210-4358 Fax 045-210-8855

【当日のみ連絡先:中門 吉松 携帯Tel 090-4006-5871】



◆コース概略案内◆

…マイクロバスを利用して見学・散策の時間を多めに計画します…

* 富士八湖の一つ明日湖(蓮池)



* 秘境の湯治場 霊水・不動の湯

霊水の効能: 疲労回復と皮膚病



* 桂川清流・鐘山の滝



* 富士山の銘水工場見学



水と人と自然をつなぐ

富士山の銘水株式会社



富士吉田市 ここにはいつも富士がある

* 紹介文はHPから転載

【明日湖】

周囲を懐かしい里山に囲まれた明見湖は、湖面に蓮が植生していることから通称「はす池」とも呼ばれ、清流と沼の多種多様な生き物が同居し、多くの水鳥が羽を休め、春は桜、夏は蓮やあじさい、秋は紅葉が楽しめます。かつては、富士八湖（富士五湖・四尾連湖・明見湖・駿河の浮島沼、後に泉端に変わる）のひとつとして、富士山信仰の富士山道の垢離場（こりば）<禊の場所>であったと伝えられています。

【不動の湯】

源頼朝公が富士の巻き狩の際、不動尊の境内より湧き出る岩清水に矢立の筆をひたして妻の政子の方に便りを書いて送り、それからこの不動尊が、硯水不動尊と呼ばれる様になったと伝えられています。非常に古い時代からこの湧水が万病に効く霊水であると里人から言い伝えられ大切に守られて参りました。今から100年ほど前、地域の人たちにより湯治施設として開湯され、この地方で一番古い湯治場として利用されて参りました。農閑期の疲労回復、かぶれ、やけど、疣（イボ）などの皮膚病への効果は抜群でした。

【鐘山の滝】

山中湖で湧いた水が忍野を通過して、富士吉田市に流れ込んでいます。その途中で見事な自然を見せてくれるのが、富士見公園内にある鐘山の滝。相模川に繋がっていく川で、富士五湖地域では桂川と呼ばれています。